

「たのしくやろう！危険予知トレーニング ～はじめてみようオンラインセミナー、新しい学びのスタイル～」

【オンライン】 令和2年度環境教育・環境保全活動に関するプログラム実践講座

環境教育や環境保全活動を推進するにあたっては野外での活動も想定されます。

その際、活動に参加する方の安全をどのように確保するかは大変重要ですが、一方でそれはとても難しいことでもあります。

そこで今回の講座は、「安全管理に積極的に取り組めるようになること」、「安全管理研修の場を自ら呼びかけ作り出すことができるようになること」、「リモートでのワークショップもできるようになること」などをねらいとして実施することとなりました。

この機会に是非楽しく学べてリモートでも実施可能な安全管理ワークショップを体験してみませんか？

☆ KYT ワークショップ (KYT : Kiken Yochi Training の略)

自然体験活動の一場面を切り取ったイラスト (KYT シート) の中に描かれた事故につながるような危険因子を見つけながら、危険予知能力を高めていくワークショップです。

☆ K-SHEL 分析ワークショップ

K : 子ども、S : ソフトウェア、H : ハードウェア、E : 環境、L : 保育者の視点で事例分析をし、ヒヤリハットの原因、再発防止策、ケガ・病気が発生した際の手順を考えるワークショップです。

[日時] 令和3年1月7日(木) 10:30~16:45 / 8日(金) 9:00~12:00

[場所] Zoomによるオンライン開催

※ワークショップの際はブレイクアウトルームを活用します。

※お申込みいただき、受講可能となった方に Zoom の招待 URL をお送りします。

[対象] 原則として、道内在住の以下の方

○小学校、中学校、義務教育学校、高等学校、中等教育学校、特別支援学校の教員

○学校や市町村と連携した環境教育等の実践に関心を有する大学生・大学院生及び法人・団体職員

○青少年教育施設の職員(指定管理者を含む)

○北海道、市町村、北海道・市町村教育委員会の職員

[定員] 30名(申込み先着順)

[参加費] 無料

[主なカリキュラム内容]

○1月7日(木) 10:30~16:45 (受付開始 10:00)

- ・KYTワークショップ1「シートを見ながらリスクの洗い出し」
- ・KYTワークショップ2「見つけたリスクの評価、回避・対策案の検討」
- ・KYTワークショップ3「K-SHEL法でヒヤリハット事例を分析」

○1月8日(金) 9:00~12:00 (受付開始 9:00)

- ・KYTワークショップ4「セーフティトークシナリオ作り」

[必要なもの]

○インターネットに接続できる環境：パソコン・タブレットなど

(画面共有により資料を表示する必要があるため、スマートフォンなど画面が小さい端末はおすすめしません)

○有線LANケーブルに接続したパソコン使用を推奨します。

[申込み方法] 12月18日(金)までに、Eメールにて「名前」「年齢」「所属」「電話番号」「住所」「メールアドレス」をお知らせください。

[申込み先] 北海道環境生活部 環境局 環境政策課 (担当：長谷)

E-mail : nagatani.kazuki@pref.hokkaido.lg.jp

[問い合わせ先] 北海道環境生活部 環境局 環境政策課 (担当：長谷 (ながたに))

TEL : 011-204-5188 ※平日(月~金) 8:45~17:30

[主催] 北海道、公益財団法人北海道環境財団

[共催] 北海道教育委員会